

平成 30 年 2 月 22 日

J S C A 指導者検定会・ベーシック課程 報告書

報告者：有限会社カヌースクール九州

西胤 正弘

■内容

開催日：平成 30 年 2 月 17 日（土）～18 日（日）

会場：熊本県球磨郡五木村

天候：晴れ

受験者数：6 名

認定者数：暫定 6 名

開催形態：市町村委託業務

■概要

2 月 16 日（金）

16：00 に現地に到着、平戸カヤックス、末永氏と合流。18 日の検定会場を下見した。

やや、水位が高いが、ダムへの出発点も足場が良く、ベーシック課程の試験会場として問題なしと判断。

2 月 17 日（土）

五木村内の伝承館会場を使い、知識課程を予定通り実施。受験者からも熱心な質問をいただきながら、カヌーにおける知識を深めることができた。試験は 3 科目とも全員合格した。

今回、検定会を実施するにあたり、総論⇒安全⇒基礎知識の流れを、総論⇒基礎知識⇒安全に変更したほうが、受験者にとって理解しやすい流れとなるのではないかと思った。

基礎知識で、フルドの特性や用具の説明、また内在するリスクについて説明し、安全で具体的な対策について講ずる。この流れが、良いと思う。

また、指導法について、講義として触れる時間を、基礎知識の中に確保すべきである。

7

2 月 18 日（日）

8 時 30 分に、全員が伝承館に集合し、ドライスーツを着用した。

漕艇技術会場は五木ダムのインレットで、五木村でカヌー体験会を実施する場所である。

一度、初心者講習会に参加してもらい、指導法について学ぶ時間を持つ。その後水上で検定種目をトレーニングした。下流から風が強吹き始めたが、漕艇技術検定を終了した。

その後、SRP 講習を実施。カウテールでの牽引、沈脱者をカヌーごと牽引、TX レス

キューの体験を実施。最後に各参加者は沈脱、カヤックへの馬乗り再乗艇を体験。TXレスキューの難しさ、また沈脱し、水の入ったカヤックへの再乗艇の難しさを体験することができた。

午後は着替えをしたのち、昼食後に指導技術検定を実施し全員合格で検定会を無事終了することができた。

受験者 6 名は五木村で、様々な村おこし事業に従事しており、ガイド業や講習に携わる経験も多く、今後の活動に期待が持てる。

なお、振り返りでは、公認スクールに加盟して活動できること。また、トレーニングを常にかさねながら、今後、資質向上を目指すことを強調した。

今回の検定では、平戸カヤックスの末永氏も研修として参加し、採点基準のすり合わせをおこないながら、検定会の進め方を再確認することができた。

以上